

議事まとめ

1. 赤石川、追良瀬川、笹内川及び小峰沢川への放流量について

- ・東北電力は下流への放流量の確保を遵守しており、水利用は適正に行われている。
- ・平成15年から実施の放流量の増量について河川環境改善に一定の効果が認められる。
- ・今後も放流量の増量を継続していくのが望ましい。

2. 赤石ダムの堆砂問題について

- ・東北電力(株)が実施してきた排砂門からの排砂は一定の効果があった。
- ・堆砂の排砂放流については、関係者間の協議のもと継続する必要がある。

3. 赤石ダムへの魚道設置について

- ・赤石ダム上流域にも広大な流域がある。(流路延長12km 流域面積45km²)
- ・環境DNA調査で判明したこと。
分断による絶滅は生じておらず、地域個体群が維持されている可能性が高い。
- ・魚道の設置は大規模な地形改変等が生じ、現実的でない。
- ・魚道を設置した場合、機能発揮のためには維持管理が必要不可欠となるが、しかしそれは不可能に近く、設置の効果は期待できない。
- ・魚道設置の検討は終了してよい。魚道の設置はしなくてよい。

4. 豪雨被害

- ・流域は、2022年8月に豪雨に見舞われた。河道、河岸、山腹、河川構造物等に甚大な被害が生じている。

その他

- ・赤石ダム上流における魚類生息状況の調査を継続する。
- ・当協議会は、今回をもって終了とする。